

# フィールドマウント形変換器 B6・UNIT シリーズ

## 取扱説明書

本質安全防爆・HART 通信対応

2 線式ユニバーサル温度変換器

形式

B6U / B6U - B

## HART 通信による設定

本器 (B6U および B6U - B) は HART 通信による設定が可能です。

お手持ちの HART コミュニケータに B6U の Device Description (DD) がインストールされていない場合は、B6U DD をインストールして下さい。B6U DD は HART 協会発行のデバイス・ドライバ・ライブラリ (2002 年 6 月またはそれ以降に発行されたもの) に収録されています。

本項では、B6U DD をインストール済の HART コミュニケータを使って本器を設定する方法を説明します。

なお、図 1 に HART コミュニケータ使用時のメニュー・ツリーを示します。

## A. オンラインメニュー

オンラインメニューでは、現在の入力信号の値 (PV)、出力信号の値 (AO) および入力レンジの下限設定値 (LRV) と上限設定値 (URV) が表示できます。Device Setup メニューを選択すると、本器の設定が可能になります。

## B. 入力センサの設定

Select Snsr メニューでは、入力センサの種類 (mV、熱電対、測温抵抗体、オーム抵抗器およびポテンショメータ) を選択できます。また、測温抵抗体およびオーム抵抗の場合は、導線の数 (2 線式、3 線式または 4 線式) を選択できます。

本器は、ユーザ定義の熱電対 (TC Spec) および測温抵抗体 (RTD Spec) の使用が可能です。TC Spec または RTD Spec をご使用になるには、あらかじめ B6U PC コンフィギュレーションツールを使用して折れ点データを定義しておく必要があります。

## C. 入力信号の設定

Basic Setup メニューでは、入力レンジの上下限值とその単位およびダンピング時間の設定が可能です。ダンピングは、入力信号のふらつきを除去し、出力信号を平準化します。ダンピング時間は 0 秒 (ダンピングなし) から 30 秒の範囲で設定可能です。

Signal Condition では、入力レンジの上下限值とその単位、ダンピング時間およびリニアライザ (Xfer) を設定できます。本器は、ユーザ定義のカーブに基づくリニアライズ出力が可能です。この機能をご使用になるには、あらかじめ B6U PC コンフィギュレーションツールを使用して折れ点データを定義しておく必要があります。

## D. アナログ出力設定

Analog Output メニューでは、出力調整、出力テストおよびバーンアウト設定 (上方、下方およびなし) が可能です。

## E. HART 通信の設定

HART Output メニューでは、ポーリングアドレス (0 ~ 15)、バーストモードの ON / OFF およびバーストデータの種類が選択できます。

## F. 機器情報

Device Information メニューでは、本器の機器情報の表示および下記項目の設定が可能です。

Tag  
Descriptor  
Date  
Message  
PV Snsr s/n  
Final asmbly num

## G. センサ入力校正

Calibration メニューでは、校正されていないセンサを使用する場合に、ゼロ・スパン校正によるセンサ校正が可能です。“Snsr Zer Cal.” ではゼロ点でのオフセット値を、“Snsr Span Cal.” ではゼロ点とのゲイン (傾き) を校正します。ゼロ・スパン校正は、測定可能レンジの任意の点で校正することができます。

“Reset Cal.” は、センサ校正を出荷時状態に戻します。このサブメニューが実行されると、センサ校正データが消去されます。センサタイプを変更したときには、過去のセンサ校正データは消去されます。

## H. 端子温度の単位と冷接点補償

Term Temp Sensor では、端子温度の単位設定と冷接点センサの使用・不使用を決定できます。入力センサの種類を熱電対に設定すると同時に冷接点補償を使用する設定になります。必要に応じて使用・不使用を選択して下さい。

## I. 出力テスト

Loop Test メニューでは、4 mA、20 mA および任意の電流を入力信号に関わりなく出力します。

## J. 診断機能

Test Device メニューでは、本器のリセットスタート (再起動)、自己診断およびその結果の表示が可能です。

## K. 設定確認

Review メニューでは、本器の設定状況を確認できます。このメニューでは、設定の変更は行えません。

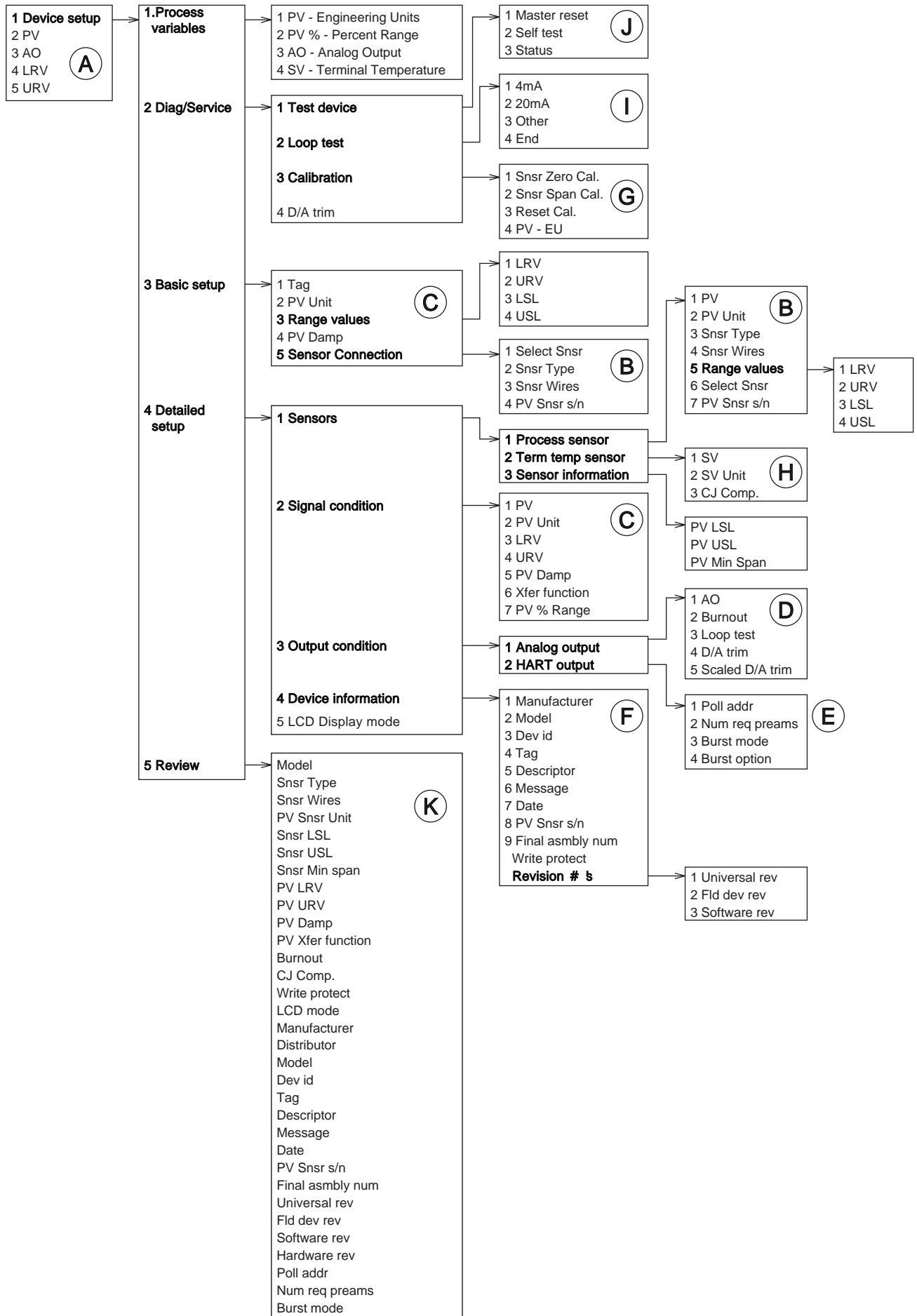


図 1 B6U / B6U - B HART コミュニケーター・メニュー・ツリー